

児童が自らの成長に気付く小学校道徳科の指導

— グローイングアップシートの活用を通して —

長期研修員 高橋 幸則

《研究の概要》

本研究は、道徳科の授業において、内容項目に関わる道徳的諸価値についての理解がどのように変化したかを児童自ら感じることができるワークシート（グローイングアップシート）に記入することで、児童が自分自身の心を見つめることを目指したものである。さらに一定の時間的なまとまりの中で書きためたグローイングアップシートを振り返りに活用することにより、児童がより深く自分自身の心を見つめ、自らの成長に気付くことができることの有効性について、実践を通して明らかにした。

キーワード 【道徳 自己を見つめる 道徳的实践意欲や態度 道徳性】

群馬県総合教育センター

分類記号：G10-01 平成29年度 263集

I 主題設定の理由

「特別の教科 道徳（道徳科）」は、平成30年度から小学校で、平成31年度から中学校で完全実施となる。人格の完成及び国民の育成の基盤となるのが道徳性であり、その道徳性を養うことが道徳教育の使命ということから、「道徳科」の目標は「道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的判断力、心情、実践意欲と態度を育てる」と示された。指導方法に関しても、発達の段階に応じ、答えが一つではない道徳的な課題を一人一人が自分自身の問題と捉え、向き合う、「考える道徳」「議論する道徳」への転換が求められている。

群馬県においては、第2期群馬県教育振興基本計画の基本施策3「豊かな人間性の育成」の中に、取組14『「向上する心」「やりぬく心」「大切に作る心」を育む道徳教育の充実』を掲げ、道徳の時間を要として教育活動全体で道徳教育を推進している。また、「平成29年度 学校教育の指針」では、「考えさせたいこと、学ばせたいこと」を明確にした上で、教材の活用を図ること、他者の多様な考え方や感じ方に触れ、自己を深く見つめる学習を工夫し、これからの生き方への思いや願いを深めていけるようにすることが指導の重点とされている。

「特別の教科 道徳（道徳科）」の実施については、既に移行期間であり一部の学校では先行実施し、研究及び実践がなされているが、多くの学校では、教科書を用いて指導を行うこと、児童の成長を積極的に受け止めて、認め励ます記述式の評価を行うことなど、新たに取り組むことへの不安の声が聞こえる。自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方について考えを深める学習や、考え、議論する道徳のための主体的・対話的で深い学びの学習の在り方など、指導する上での課題とされていることも数多くあると思われる。

所属校は、遊びや清掃などで行う縦割り活動に特色があり、低学年の児童の面倒をよく見る上級生が多く、挨拶も比較的良好にできる児童が多い。「気づく 考える 行う」の具体目標の下、職員が丸となって積極的な指導を行っている。今年度の校内研修では道徳を中心に取り組み、別業の見直しも行い、他教科や行事等とのつながりも明らかにして取り組んでいるが、考えさせたいこと、学ばせたいことを明確にした授業に反映させることができない姿も見受けられる。また、道徳の授業では積極的に発言し、主体的な取組を見せる児童でも、実際の場での行動に表せないこともあり、道徳的实践意欲や態度を向上させることの難しさを感じる。

こうした現状を踏まえ、考えさせたいこと、学ばせたいことを明確にした道徳の授業に取り組むことは、児童の道徳的諸価値への自覚をより一層深めていくことにつながっていきと考える。その際に、内容項目に関わる道徳的諸価値についての理解がどのように変化したかを児童自ら感じることができるワークシート（以下「グローイングアップシート」）に記入することで、児童が自分自身の心を見つめることができるとともに、教師も自らの指導方法の改善充実につなげていくことができると考える。さらに一定の時間的なまとまりの中で教師からのよさを認め励ますメッセージとともに、書きためたグローイングアップシートを基に1時間1時間の心情を振り返らせることにより、児童がより深く自分自身の心を見つめ、自らの成長に気付くことができると考える。こうしたことで児童の道徳的実践意欲や態度など内面的資質が向上し、より良い道徳性を養うことにつながっていきと考える、本主題を設定した。

II 研究のねらい

道徳科の指導において、自らの成長に気付き、道徳的実践意欲や態度の向上につなげていける児童を育成するために、グローイングアップシートを活用することの有効性を明らかにする。

III 研究仮説（研究の見通し）

- 1 各授業において内容項目に関わる道徳的諸価値についての理解がどのように変化したかをグロー

イングアップシートに記入すること

各授業の終末での振り返り場面において、事前に記入した考え方や経験を基に、自らの道徳的諸価値についての理解がどのように変化したかを記入することで、児童は自分自身の心を見つめることができるであろう。

2 一定の時間的なまとまりの中でグローイングアップシートを振り返りに活用すること

一定の時間的なまとまりの中で、書きためたグローイングアップシートと教師からのよさを認め励ますメッセージを基に、自己の振り返りを行うことで、児童はより深く自分自身の心を見つめ、自らの成長に気付くことができ、道徳的実践意欲や態度の向上につなげていくことができるであろう。

IV 研究の内容

1 基本的な考え方

(1) 「自らの成長に気付く」道徳科の指導とは

自らの成長に気付くためには、まず、これまでの自分の経験やその時の考え方、感じ方と照らし合わせながら考えを深めることが大切である。そのためにこれまでの自分の経験やその時の考え方を把握する活動、考えが深まったことを認識する活動を行うことが必要である。次に他者と対話したり協働したりしながら多様な考え方や感じ方に接する活動を行うことが大切である。自分との関わりで考えることで多様な価値観の存在が理解できるからである。さらに自己の生き方について考えを深めていくことができるようにする活動を行うことが大切である。なぜなら自分の特徴を知り伸ばしたい自己を深く見つめられるからである。こうした活動を取り入れた指導を行うことで「自らの成長に気付く」ことができると考える。

自らの成長に気付くことができた児童は、道徳的価値を自覚し、自己の生き方についての考えを深め、日常生活や今後直面するであろう様々な場所や状況において適切な行為を主体的に選択し、実践していこうとする道徳的実践意欲や態度の向上につなげていくことができると考える。

(2) 「グローイングアップシート」とは

授業を行うことにより、内容項目に関わる道徳的諸価値についての理解がどのように変化したかを捉えることは児童の成長にとって重要なことと考える。そこで、事前の様子を把握し、授業の終末での振り返りの場面において、感じ方や考え方の変化について文章で記述するワークシートを作成し、グローイングアップシートと名称を付け、授業に臨むこととした。

図1のように、表面右半分は事前の活動で記入する形式となっており、本時のねらいを踏まえ、

内容項目に関わる考え方や経験などを記入する。時間が十分に取れないことも考慮し、記述内容を絞り込んだ。左半分は授業の終末での振り返りの場面で「今日の授業で感じたこと考えたこと」と「道徳的価値に関わる理解に対しての変化の有無とその理由」を記入する。この部分がグローイングアップシートの特徴であり、一般的なワークシートには見られない部分である。事前に記入したこと、今日の授業で感じたこと考えたことを見ながら、道徳的価値に関わる自らの理解がどのように変化したか、その理由を記入する形式になっている。この時間に自分が考えた

The diagram shows a worksheet titled "道徳ワークシート" (Moral Worksheet) with fields for "年 名 組 (番)" (Year, Name, Group, Number). The form is divided into two main sections: "今日の授業で感じたこと考えたこと" (Thoughts and feelings from today's lesson) and "内容項目に関わる考え方や経験" (Thoughts and experiences related to content items). The left side of the form is for "授業の終末での振り返りで記入" (Recording during the end of the lesson reflection), and the right side is for "事前の活動で記入" (Recording during pre-lesson activities). The left section includes a box for "道徳的価値に関わる理解に対しての変化の有無とその理由" (Changes in understanding of moral values and reasons) and a box for "今日の授業で感じたこと考えたこと" (Thoughts and feelings from today's lesson). The right section includes a box for "内容項目に関わる考え方や経験" (Thoughts and experiences related to content items) and a box for "今日の授業で感じたこと考えたこと" (Thoughts and feelings from today's lesson). There are also some smaller boxes and text on the right side, including "①あなたと仲の良い友達がいいますか、必要なたは相手の良い行動をいっつもして、その友達と同じような行動をいっつもして、いることが多いですか。" and "②今日の授業で感じたこと考えたことをもとに、自分の行動を振り返ってみましょう。"

図1 グローイングアップシート表面

こと、さらにそうしたことが今までの自分の考え方や行動と比較してどうだったかを記述させることで自らの変容に気付くことができるようにした。

裏面は授業中の展開前段や展開後段に使用する形式とした。記述内容は中心発問に関することと、補助発問に関することとしている。なお、日付、授業回数、主題名、資料名も明示した。

事前の活動での記入は、5分から10分程度の時間が必要であり、授業での指導に生かすためにも前日までに記入させることが望ましい。授業を行う際に事前の児童の記述内容を把握できるので、導入時の資料や、意図的指名の際の判断材料としても活用できるからである。朝や帰りの活動や他の教科等に影響のない時間等を確保して行わせたい。授業終末での振り返りの場面での記入は、より深く自分を見つめさせるためにも、ある程度の時間は確保したい。

児童が記入したグローイングアップシートは目を通してから児童に返却し、教室内で場所を決め、ファイルに保管させる。その後、一定の時間的なまとまりの中での振り返りに活用する。

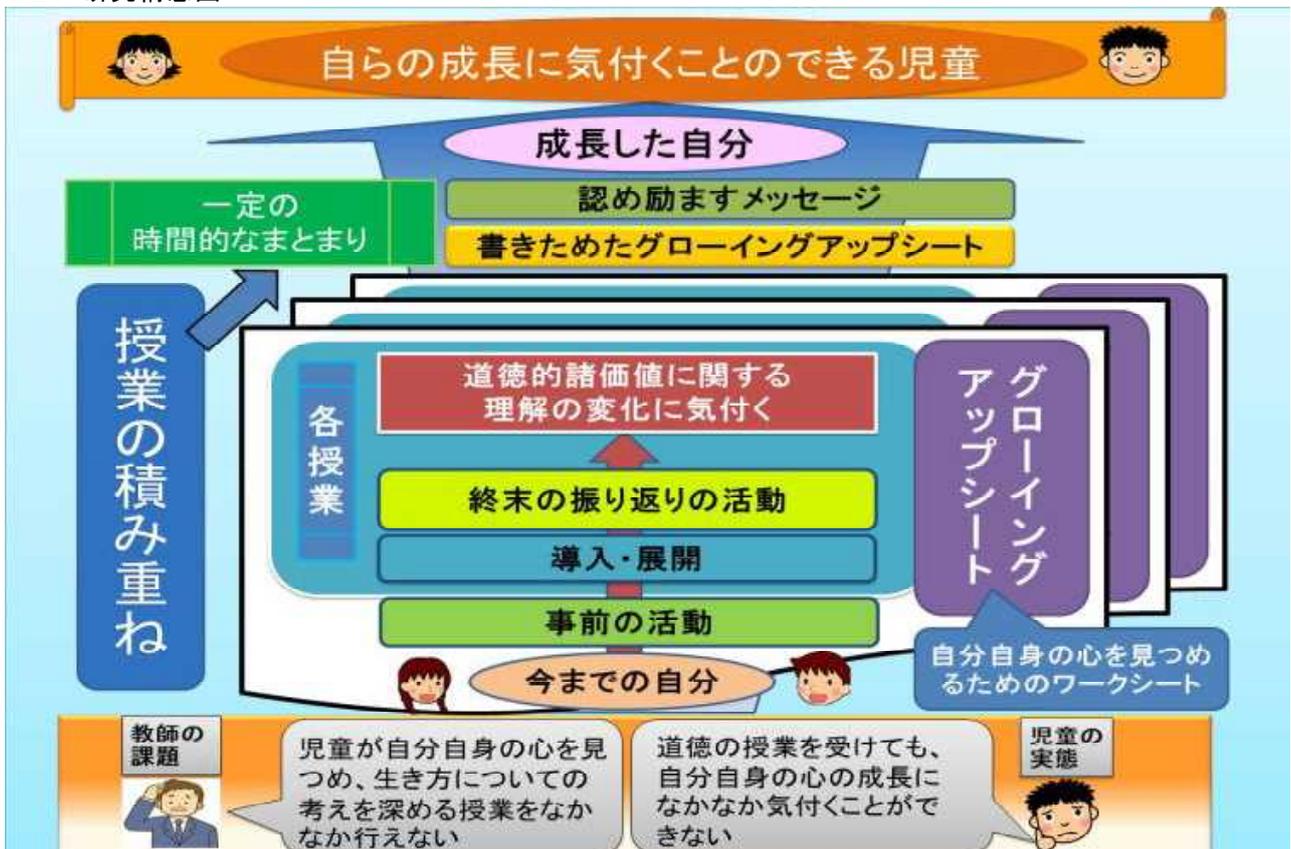
(3) グローイングアップシートを振り返りに活用することについて

児童にとって、書きためたグローイングアップシートを通してそれぞれの時間で自分が考えていたことを見ることは、自らの心の学びを振り返ることができ、変化に気付くことができることにつながると考える。教師にとっては、自らの指導を検証することになる。ねらいとする姿に近い記述が多ければ児童の心に響く内容であったと判断できるからである。

さらに、書きためたグローイングアップシートの記述を、一定の時間的なまとまりの中で児童に振り返らせる。その際、1時間ごとの授業の記録を蓄積した資料を基にした教師からの児童のよさを認め励ますメッセージを渡すことで児童はさらに自分自身の心を見つめ、なかなか感じ取ることができない自分自身の心の成長に気付くことができると考える。このようにグローイングアップシートは児童の心の成長と認め励ます教師の指導に活用できると考える。

なお、本実践においては3時間の授業実践を終えた後、一定の時間的なまとまりとして振り返りの活動を行った。人権に関わることなどの内容的なまとまりや、月や学期などの時間的なまとまりを一定の時間的なまとまりとして振り返りの活動を行うことが考えられる。

2 研究構想図



V 研究の計画と方法

1 授業実践の概要

対 象	所属校 第6学年 43名
実践期間	平成29年10月18日～10月31日 6時間（3時間×2クラス）
	学習内容
第1時	主題名 「より良い学校生活」（C-16 より良い学校生活、集団生活の充実） 資料名 「せんばいの心を受けついで」（出典：東京書籍） ねらい 進んでより良い学校にしていくための取組を行っていかうとする態度を育てる。
第2時	主題名 「希望と努力」（A-5 希望と勇気、努力と強い意志） 資料名 「飛行機王 ～中島知久平～」（出典：ぐんまの道徳 小学校 群馬県教育委員会） ねらい 高い目標を立て希望と勇気を持ち困難があっても努力を続けてやり抜こうとする心情を養う。
第3時	主題名 「公平な態度」（C-13 公正、公平 社会正義） 資料名 「ぼくは後悔しない」（出典：東京書籍） ねらい 自分の考えをしっかりと持ち、公正公平な態度をとろうという心情を育てる。
振り返り	ねらい 書きためたグローイングアップシートと教師からのよさを認め励ますメッセージを基に振り返りの活動を行わせることにより、より深く自分自身の心を見つめさせる。

2 検証計画

	検証の視点	検証の方法
見通し1	各授業の終末での振り返り場面において、事前に記入した考え方や経験を基に、自らの道徳的諸価値についての理解がどのように変化したのかを記入することは、児童が自分自身の心を見つめることに有効であったか。	グローイングアップシートの記述内容、授業中の児童の見取りの記録、児童の振り返りアンケートを分析する。
見通し2	一定の時間的なまとまりの中で、書きためたグローイングアップシートと教師からのよさを認め励ますメッセージを基に、自己の振り返りを行うことは、より深く自分自身の心を見つめ、自らの成長に気付くことができ、道徳的実践意欲や態度の向上につなげていくことに有効であったか。	

3 抽出児童

A	落ち着いて物事を考え、自分が良いと思うことをしっかりと行うことができる。周囲に気を配り、様々なことに気が付いて自分から行動できる。
B	元気がよく活発に行動できる。遊びなどでも中心となり、自分の考えを基準に行動することも多いが、やらなければならないことは行う。
C	自分に自信が持てずに積極的に行動することがなかなかできない。努力が続けられず、他の児童に合わせてしまうことも多い。

VI 研究の結果と考察

自らの成長に気付き、道徳的実践意欲や態度の向上につなげていける児童を育成するために、グローイングアップシートを活用することの有効性を検証した。各授業における有効性については抽出児を基に、一定の時間的なまとまりの中での有効性については抽出児と全体の記録を基に検証する。授業実践の結果と考察は以下のとおりである。

1 第1時 主題名「より良い学校生活（C-16 より良い学校生活、集団生活の向上）」

資料名	「せんぱいの心を受けついで」（東京書籍）
本時のねらい	進んでより良い学校にしていくための取組を行っていくとする態度を育てる
事前の活動	学校の伝統だと思うこと、より良い学校にするために取り組んできたことについてワークシートに記入させる。
過程	○学習活動 ・予想される児童の反応 □発問（二重囲みは主発問）
導入	○学校の伝統だと思うことについて発表する。 ・「縦割り清掃」「縦割り遊び」
展開	前段 ○教師の読み聞かせを聞く。 ○広美の気持ちが変わった理由を考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">広美がキク作りに一生懸命に取り組むようになったのは、どうしてですか。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・「二人二はち運動で、一年生といっしょに取り組むようになったから」「古い作文集で近所の米屋のおじさんのキク作りへの思いを知ったから」 ○米屋のおじさんに伝えたい思いについて考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">広美がキク祭りの時に米屋のおじさんに伝えたいのはどんな気持ちですか。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・「おじさんたちの学校の良い伝統をわたしたちが受けついでいるということ」「自分たちもそうしたことを大切にしていきたいから」
	後段 ○より良い学校について考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">より良い学校とは、どんな学校だと思いますか。グループに分かれて話し合ってみましょう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・「みんなが仲の良い学校」「いじめのない学校」
終末	○今日の授業で感じたこと考えたことをワークシートに書く。 ○ワークシートの事前の記述と授業の終末で書かせた記述を見て、自分自身の感じ方や考え方が変わったことについて記入させる。
事後の指導	ワークシートに記入した決意や行動が学校生活の中で表れているか見守り支援する。

(1) 事前の活動での記入について

「学校の伝統だと思うこと」という問いに対して、A児は縦割り活動、なかよし集会、ソーラン節、あいさつ運動、学校給食の五つ、B児は縦割り清掃、校歌、運動会、持久走大会、積算マラソン、集団下校、募金活動の七つ、C児はソーラン節一つを挙げていた。3人とも日常の経験を思い出し、自分なりに捉えたことを記入していた。

「より良い学校にするために取り組んできたことについて」A児は「自分から進んであいさつをする。6年が中心となり、下の学年にそうじを教える」、B児は「縦割り清掃」、C児は「ない」と書いた。A児は最上級生として自覚を持って取り組んでいることを挙げていた。B児は学校の伝統だと思うことで挙げたことの一つを書いた。C児はいろいろなことに自信が持てずに積極的に行動することがなかなかできず、経験が不足していることが関係しているかと思われる。

(2) 授業の振り返りの場面での記入について

A児は事前の記入で自分自身が現在取り組んでいることがより良い学校にするための取組の一つだと認識していたが、「今日の授業で感じたこと考えたこと」の記述内容を見ると、「伝統」という言葉をも自分なりに捉え、さらに良い行動への意欲を書いていた（表1、

表1 振り返りの場面での記述内容

項目	今日の授業で感じたこと考えたこと	変化	感じ方や考え方が変化した変化した理由
A児	<u>伝統はその学校を良くするためにあることが分かった（学校の誇り）。先輩から受け継いだ伝統を残していき、もっとより良</u>	○	<u>伝統などを一生懸命受け継ごうと活動に取り組むとより良い学校になる。先輩たちの築き上げてきたものをもっとより良くしようとい</u>

下線a・b)。B児は、感じ方や考え方が変化した理由から、授業の中でグループで話し合ったことやみんなの意見を聞いたことで、一人ではなく、みんなで行動していくことの大切さに気付くことができたと書いていた。(表1、下線c)。C児はグループの話合いも参加していたが、記述内容を見ると自分自身を見つめての反省を書いていた(表1、下線d)。

	<u>い学校づくりをしたいと思っ</u> た。(下線a)	<u>う気持ち</u> がこみあげてきた。(下線b)
B児	より良い学校にするためにの <u>ところ</u> では、みんなの意見は <u>いじめ</u> ゼロという、 <u>いじめ</u> に関するものが一番多く上がった。	自分だけでなく、 <u>みんな</u> がいっしょに物事に <u>取り組め</u> ば、 <u>伝統</u> を続けていけると <u>思っ</u> た。(下線c)
C児	より良い学校に <u>すること</u> について書くのが <u>難し</u> かった。(下線d)	あまり感想が書けなかつた。

グローイングアップシートの記入から分析すると、A児はこれまでの自分の考え方に新たな理解を加え、さらに自分自身を見つめて今後の行動への意欲を示すなど深い学習ができたと考える。B児は、他の児童の考え方に触れ、力を合わせての今後の行動を行う意欲を持つことができたと考える。C児は道徳の授業の中での小グループでの話合いが初めてということもあり、発言の記録を見ても自分の考えを持ってほとんど意見が言えなかったことから、そうした自分の姿を見つめての文章になったと考える。

2 第2時 主題名「希望と努力(A-5 希望と勇気、努力と強い意志)」

資料名	「飛行機王 ～中島知久平～」(ぐんまの道徳 小学校五・六年)	
本時のねらい	高い目標を立て、希望と勇気を持ち、困難があっても努力を続けてやり抜こうとする心情を養う。	
事前の活動	叶えたい夢や希望と、そのために努力していることを調べるため、ワークシートに記入させる。	
過程	○学習活動 ・予想される児童の反応 □発問(二重囲みは主発問)	
導入	○中島知久平が作った工場について知る。 ・「スバルの工場」「飛行機が外にあった」	
展開	前段	○教師の読み聞かせを聞く。 ○高等小学校を卒業したころの知久平の希望について知る。 知久平さんは東京で勉強するために家を飛び出していました。みなさんだったらどうしますか。それはどうしてですか。 ・「家にいる。大変だし、不安だから」「家を出る。自分がしたいことだから」 ○東京に出た後の知久平の苦労と新たな思いについて知る。 知久平さんは何度失敗してもからかわれてもあきらめず、新たな工夫や改良を加えていったのはどんな気持ちからだったと思いますか。 ・「飛行機を作って多くの人のために役に立ちたいと思っていたから」「自分の夢をあきらめたくなかったから」
	後段	○夢や目標を叶えるために大切なことについて考える。 夢や目標を叶えるために大切なことはどんなことだと思いますか。自分で考えた後にグループに分かれて発表し合ってみましょう。 ・「ぜったいにあきらめない」「多くの人役に立ちたいという気持ち」
終末	○今日の授業で感じたこと考えたことをワークシートに書く。 ○ワークシートの事前の記述と授業の終末で書かせた記述を見て、自分自身の感じ方や考え方が変化したことについて記入させる。	
事後の指導	ワークシートに記入した決意や行動が学校生活の中で表れているか見守り支援する。	

(1) 事前の活動での記入について

A児は「夢は管理栄養士で、日頃から食べ物や栄養などの情報を健康について考えながら見ている」などと夢や目標をしっかりと書き、日頃から努力していることを具体的に記述した。B児は「夢はどうしても見つかりません」と書き、目標も「無事、中学を卒業して行きたい高校に行く」、努力していることも「勉強」と書いただけだった。C児は夢に「学校の先生、医師になりたい」と書き、努力していることに「たくさん勉強をしてなりたい」と書いた。

A児、C児は自分自身をしっかりと見つめ、夢について書くことができた。B児は自分自身を見つめて、正直な現在の心境を書いたと思われる。

(2) 授業の振り返りの場面での記入について

A児の感じ方や考え方が変化した理由を見ると、授業を通して日頃から抱いていた心情と行っていた努力を見つめ、さらに高い目標への強い決意につながったことを書いていた(表2、下線a)。B児の感じ方や考え方が変化した理由を見ると、事前の記述から受けた印象とは違い、積極的に発言できた授業を通して持つことができた夢や目標実現のための強い決意を書いていた(表2、下線b)。C児の今日の授業で感じたこと考えたことを見ると、自分自身を見つめ、より良い自分の姿への思いを持つことができたことを書いていた。(表2、下線c)

グローイングアップシートから分析すると、A児は自分の夢や希望をしっかりと確認した上で、授業を通して理解を深めた思いを加え、今後の自分自身の行動への決意を持つことができたと考える。B児は事前の活動ではあまり前向きな姿を記入できなかったが、授業を通して新たな信念を持つことができ、今後の自分の行動への強い決意を持つことができたと考える。C児は他の授業や日常の様子では見ることができなかった心の内に秘めた将来の夢について事前の活動で記入することができたが、振り返りの活動での記述内容からは授業を通して今後の自分のあるべき姿を踏まえての現在の状況を書いたと考える。ただ、授業中の見取りでも他の授業ではあまり見ることができなかった集中した態度で活動に取り組み、内なる変化が感じられた。

表2 振り返りの場面での記述内容

項目	今日の授業で感じたこと考えたこと	変化	感じ方や考え方が変化した変化しない理由
A児	失敗し続けても、それを学んで成功に変え、あきらめないことが大事だと思った。自分の気持ち(夢を実現したい、多くの人のために役立ちたいなど)をしっかり持ち、それを見失わないことも欠かせないことだと思った。	○	<u>もともとそういう気持ちはあるけど、授業を受けて中島さんのようにもつと強い気持ちと意志を持ちたいと思った。夢や目標に向かってあきらめずに努力し、絶対に実現させたいと強く思うようになった。</u> (下線a)
B児	夢や目標を叶えるためには、やはり勉強などの努力が大切だと思った。	○	<u>前まで一目見て、あきらめてしまうことがあったけど、これからはまず取り組み、本当に無理だなと思うまでやり続けたいと思った。</u> なぜかという、一目見てあきらめたらそこで終わりだけやりに続けたら何かいいことがあるから。(下線b)
C児	<u>たくさんいろいろなことができる人になりたいと思いました。</u> (下線c)	×	まだ、夢に近づいていないと思ったから。

3 第3時 主題名「公平な態度(C-13 公正、公平 社会正義)

資料名	「ぼくは後悔しない」(東京書籍)
本時のねらい	自分の考えをしっかりと持ち、公正公平な態度をとろうという心情を育てる。
事前の活動	仲の良い友達がいるか、ふだんは同じような行動をするかと、自分が正しいと思うことを実行したことがあるか、それはどんなことだったかをワークシートに記入させる。

過程	○学習活動 ・ 予想される児童の反応 □発問（二重囲みは主発問）
導入	○仲の良い友達との行動について考える。 ・「何も考えずいつも同じような行動をしている」「本当の気持ちは違うけど合わせている」「同じような行動をすることが多い」「あまり同じような行動をしない」
展開	前段 ○教師の読み聞かせを聞く。 ○自分だったら学級のボールの使い方を議題として取り上げるか考える。 あなたが三郎くんの立場だったとしたら、学級のボールの使い方を議題として取り上げますか。 ・「取り上げる」「取り上げない」 ○「取り上げる」「取り上げない」派に分かれて、自分の考えを伝え合い、意見を述べ合う。 ○三郎の気持ちを考える。 三郎くんがボールの使い方を学級会の議題として取り上げたのは、どんな考えからでしょうか。 ・「いくら仲が良くてもクラスみんなのためには仕方がない」「正夫くんなら分かってくれる」
	後段 ○正しいと思うことを実行するために必要な気持ちや考えについて話し合う。 正しいと思うことを行うために大切なのはどんな気持ちや考えだと思いますか。グループで話し合ってみましょう。 ・「勇気」「正しいと思うことは行ったほうが良い」
終末	○今日の授業で感じたこと考えたことをワークシートに書く。 ○ワークシートの事前の記述と授業の終末で書かせた記述を見て、自分自身の感じ方や考え方が変化したことについて記入させる。
事後の指導	ワークシートに記入した決意や行動が学校生活の中で表れているか見守り支援する。

(1) 事前の活動での記入について

3人とも仲の良い友達は「いる」と答えたが、「その友達と同じような行動をとるか」についてA児は「することが多い」B児は「何も考えずいつもしている」C児は「あまりしない」だった。自分が正しいと思うことを実行した経験について、A児は「ある（みんなが気付かないことなども、気付いて行動している）」、B児は「ある（お金を使うとき）」、C児は「ない」だった。

3人とも普段の自分の行動や経験を振り返りながら書いている様子が見られた。

(2) 授業の振り返りの場面での記入について

A児は自分の日常の行動を見つめ、新たな自分の行動への決意を書いていた（表3、下線a）。B児は自分の日常の行動を見つめ、改善したいという決意を書いていた（表3、下線c）。C児はグループの話合いにあまり参加できなかったため、振り返りの場面での記述内容を見ると授業中の自分の行動を見つめての反省となっていた（表3、下線d）。

グローイングアップシートの記入から分析すると、A児は普段何

表3 振り返りの場面での記述内容

項目	今日の授業で感じたこと考えたこと	変化	感じ方や考え方が変化した変化しない理由
A児	友達の行動に合わせる事が多く、三郎くんの気持ちも少し分かるような気がした。 <u>仲の良い友達だけでなく、視野を広げて他の友達にも気付くことが大事だと思った。</u> （下線a）	○	前までは少し仲の良い友だちに合わせたりしていたけれどそれでは周りの人に不平等な態度をとることになってしまうということが分かった。これからは言いたいことをきっぱり言いたいと思う（自分が正しいと思ったら自信を持って）。（下線b）

気なく行動していた自分の姿を見つめ、授業を通して理解した考えを基にこれからの行動への強い決意を持つことができた[○]と考える(表3、下線b)。B児は、今までの自分の行動を反省し、今後の自分の行動への決意を持つことができた[○]と考える。本時の展開後段は小グループで一つの意見にまとめる活動であった。十分な時間を持たず個別の支援も思うように行えなかったため、発言の記録からもC児は自分が望むように意見を言うことができず、自分自身を見つめることがあまりできなかった[×]と考える。

B児	周りに左右されず、自分がこれだと思ったら、それを突き通す。	○	周りは気にせず、自分がこれだと思ったらそれを突き通す。 <u>なぜかという</u> <u>と今まではみんなを見ながらやっていたことをこの授業を通して直したい</u> <u>と思ったから。</u> (下線c)
C児	他の人と同じことをしてはいけない。	×	<u>あまり意見が言えなかった。</u> (下線d)

4 グローイングアップシートに記入することによる自分自身の心を見つめることへの有効性

グローイングアップシートの記述内容を分析すると、約78%の児童が自分自身の心を見つめた文章を記述していた。抽出児以外の主な記述内容は図3のとおりである。

従来の指導でよく見られた今日の授業の感想を書くという課題では、資料の内容や登場人物に対しての感想がほとんどで、自分のことについての記述はあまり見られなかった。しかし、グローイングアップシートを用い、授業を通して自らの道徳的諸価値についての理解がどのように変化したかを記述することにより、自分自身を深く見つめることができた。さらに、現在の自分の姿を見つめて、今後の自分の行動への決意を持つことができた(図3、波線部)。

・より良い学校にするには、みんなと協力するのも大切だけど、まずは自分を変えようと思った。
 ・今までめんどくさいなどということを書いてしまったりしていたけど、すべてめんどくさがらず挑戦していきたい。
 ・今の自分の夢に自信が持てたので、他の人にどんなことを言われても気にせずにがんばる。
 ・最初は失敗したらどうしようと思ってしまっていたけれど、今日の授業を受けて、少しずつ学んでいけば絶対成功すると思えました。
 ・周りの人と考え方が違ってても正しいと思うことはやってみる価値はあると思うので、今までできなかったことや言えなかったこともこれから機会があれば伝えたい。
 ・今までの自分は相手はどう思うかなど、あまり考えていなかったけど、今度からそういうことが考えられる人になりたいです。

図3 グローイングアップシートの記述内容

残り約22%の児童の中には、資料に出てくる道徳的諸価値に関して自分自身と結び付けての文章を書くことができなかつたり、考えがまとまらず無記入となつたりした児童もいた。また、C児のように自分の思いを文章でうまく表現できなかった児童もいた。このような児童に対しては、他の児童が記述した文章を紹介するなど事前の活動での記述内容を踏まえて個別の支援を行っていく手立てを取ることが必要だと考える。さらに、グローイングアップシートに記入する活動を積み重ねていくことにより、自分の思いを表現することへの抵抗を和らげていったり、変化や成長を認め励ましたりすることにより自分自身に自信を持てるようにすることが大切だと考える。

このことから、グローイングアップシートに記入することは、児童自身の心を見つめることに有効であると言える。

5 一定の時間的なまとまりの中でグローイングアップシートを振り返りに活用することの有効性

次ページ表4は、A児のグローイングアップシートからの抜粋である。主題や資料も異なるため、単純に比較検討することはできないが、この二つの内容は、授業の中で自分自身を見つめたことが表現されている部分であり、書きためていくことにより、その時間に児童が考えていたことなどが分か

る部分である。A児は課題を捉え、自分自身を見つめて考えることが常に行えるが、資料や他の児童の感じ方や考え方に触れることにより、より深く自分自身を見つめ、今後の行動への意欲を持つことができたことがうかがえる（表4、下線a～f）。

表5は、C児のグローイングアップシートからの抜粋である。C児は、課題を捉え、自分自身を見つめることがなかなか難しかった様子が見える（表5、下線a・c）が、第2時のように自分自身に関する学習内容においては、自分自身を見つめることができたと思われる（表5、下線b）。

授業を行う際に使用したグローイングアップシートは、目を通した後児童に返し教室内の専用ファイルに保存させ、一定の時間的なまとまりの中での振り返りに役立てていく。

教師は、グローイングアップシートの記述を基に、発言回数や内容、グループ活動での様子などの授業中の見取りを加えて、1時間ごとの授業の記録を作成する。その後、その記録を蓄積し、一定の時間的なまとまりの中で児童への認め励ますメッセージを作成する（図4）。メッセージ文は授業を通して児童が成長した姿を認め、今後の行動への意欲を励ます内容になるようにする。

児童は書きためたグローイングアップシートと教師からのメッセージを基にした振り返りを行う。振り返りの時間は朝の活動の時間などが考えられるが学校全体で授業時間内に設定することも考えられる。

今回行った振り返りにおいて、A児の書いた文章が次ページ図5である。自分の考え方が変化したことを自覚し、今後の生活への意欲を見せるなど、道徳的実践意欲や態度の向上が見られたと考える。C児の書いた文章は次ページ図6である。一言ではあるが自分の考え方が変化したことを書くことができた。また、授業に対する満足感もうかがえた。

表4 A児のグローイングアップシートからの抜粋

	今日の授業で感じたこと 考えたこと	感じ方や考え方が変化した 変化しない理由
第1時	伝統はその学校を良くするためにあることが分かった（学校の誇り）。先輩から受け継いだ伝統を残していき、 <u>もっとより良い学校づくりをしたいと思った。</u> （下線a）	伝統などを一生懸命受け継ごうと活動に取り組むとより良い学校になる。先輩達の築き上げてきたものを <u>もっとより良くよくしようという気持ち</u> がこみあげてくるように変化した。（下線b）
第2時	失敗し続けても、それを学んで成功に変え、あきらめないことが大事だと思った。 <u>自分の気持ち（夢を実現したい、多くの人のために役立ちたいなど）をしっかり持ち、それを見失わないことも欠かせないことだと思った。</u> （下線c）	もともとそういう気持ちはあるけど、授業を受けて中島さんのように <u>もっと強い気持ちと意志を持ちたいと思った。</u> 夢や目標に向かって <u>あきらめずに努力し、絶対に実現させたいと強く思うようになった。</u> （下線d）
第3時	友達の行動に合わせることが多く、三郎さんの気持ちも少しわかるような気がした。 <u>仲の良い友達だけでなく、視野を広げて他の友達にも気付くことが大事だと思った。</u> （下線e）	前までは少し仲の良い友達に合わせたりしていたけれど、それでは周りの人に不平等な態度をとることになってしまうということが分かった。 <u>これからは言いたいことをきっぱり言いたいと思う（自分が正しいと思ったら自信を持って。）。</u> （下線f）

表5 C児のグローイングアップシートからの抜粋

	今日の授業で感じたこと 考えたこと	感じ方や考え方が変化した 変化しない理由
第1時	より良い学校のことについて書くのが難しかった。	<u>あまり感想が書けなかった。</u> （下線a）
第2時	たくさんいろいろなことをできる人になりたいと思いました。	<u>まだ、夢に近づいていないと思ったから。</u> （下線b）
第3時	他の人と同じことをしてはならない。	<u>あまり意見が言えなかった。</u> （下線c）

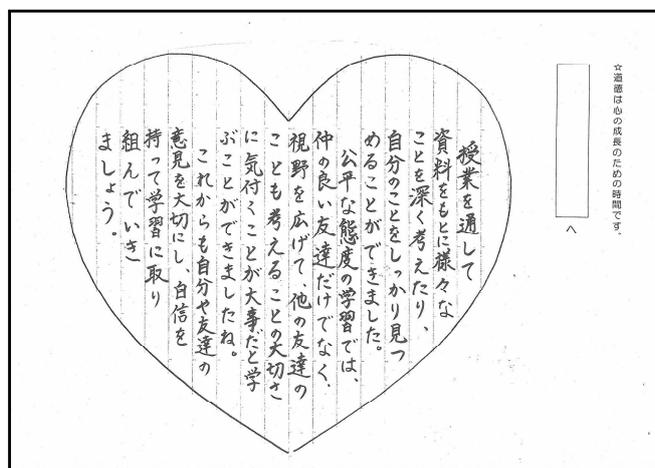


図4 児童に渡した認め励ますメッセージ

また、全体に対して、心や行動が変化したか尋ねたアンケート結果は図7のとおりである。95%の児童が良い方向に自分が変わってきたことを認識していることが分かる。変化が見られる記述としては、「仲の良い友達がやってはいけないことをしたら、しっかり注意することに意識している」「ぼくはよりよい学校生活の授業を受けてから、今までより優しく低学年の子に接するようになりました」「私はけっこう失敗が続くと、あきらめてしまうことが多かったのですが、最近はおと少しがんばろうと思うようにしている」などあった。

これらのことから、一定の時間的なまとまりの中でグローイングアップシートを振り返りに活用していくことは、自分自身をより深く見つめさせることに効果があると考えられる。さらに実際の行動への意欲や取組への姿勢の変化に関わる記述も見られ道徳的实践意欲や態度の向上につながると考えられる。

道徳が楽しくなり、意味も分かってきた。道徳についての考えがより深くなったと思う。学んだことを学校生活や生活に生かしていきたいという気持ちになった。

図5 A児の振り返り

人がやるのではなく、自分で進んで注意をしたいと思いました。授業は少なかったけれど楽しくできましたと思いました。

図6 C児の振り返り

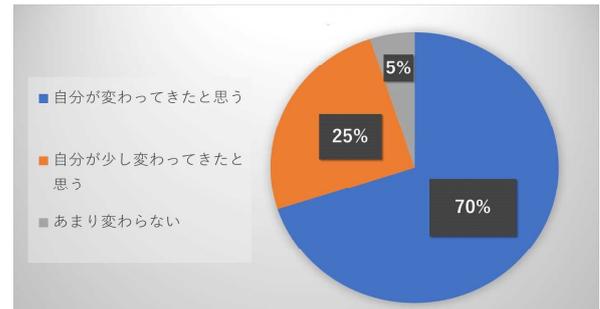


図7 心や行動の変化を尋ねたアンケート結果

Ⅶ 研究のまとめ

1 成果

- 授業の振り返りの場面において内容項目に関わる道徳的諸価値についての理解がどのように変化したかをグローイングアップシートに記入させることにより、事前の活動での記述内容も踏まえながら、自分自身を深く見つめることができた。さらにこのことが今後の行動への決意につながる表現に結び付いた児童も見られた。教師も事前に考え方や経験を把握することで一人一人の児童に応じた指導を行うことができた。
- 一定の時間的なまとまりの中でグローイングアップシートを振り返りに活用することは、自分自身の感じ方や考え方を深く見つめることになり、児童の記述を見ると学校生活や日常生活の変化に結び付いた様子がうかがえた。また、自らの成長に気付くことができた児童も見られた。
- 蓄積した記録を基によさを認め励ますメッセージを作成するに当たり、児童の考え方や行動の変化を見取ることを通して、教師も自らの指導方法の改善充実につなげることができた。

2 課題

- 事前の活動で記入させる内容を考えるためには、明確な指導観を持った上での授業構想が必要となる。内容項目を基にしたねらいを設定し、中心発問や展開後段での活動等も踏まえて、より効果的な内容となるよう十分に考える必要がある。
- 振り返りの時間を十分とらなければ児童の自分自身への問いかけが浅くなる。授業構想を基に発問等を精選した上で活動時間を確保する必要がある。
- より深く自分を見つめさせるためには、一定の時間的なまとまりの中での振り返りを学校全体で共通理解を図り、計画的に行う必要がある。

Ⅷ 提言

自分自身の心を見つめることのできるグローイングアップシートの活用を行うことで、児童は自らの成長に気付くことができる。さらに一定の時間的なまとまりの中でグローイングアップシートを振

り返りに活用することで、児童がいかにか成長したかを受け止めて認め励ます個人内評価に生かすことができる。

<参考文献>

- ・文部科学省 「小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」(2017)
- ・道徳教育に係る評価等の在り方に関する専門家会議
「特別の教科 道徳の指導方法・評価等について(報告)」(2016)
- ・小中学校における多様な評価手法に関する研究(道徳)
— 一枚ポートフォリオ評価を軸とした道徳の時間における評価の在り方 —
愛知県総合教育センター研究紀要 第105集(2015)
- ・「特別の教科 道徳」の趣旨を踏まえた指導と評価の在り方
平成27年度 東京都教職員研修センター紀要 第15号(2015)
- ・東京都教職員研修センター「特別の教科 道徳 指導読本」(2016)

<担当指導主事>

長沼 祐子 若林 拓也